

ニュースレター 「かけはし」

第17号 2015年4月1日発行

お世話になっております。だいぶ暖かくなってまいりました。今回も拙い文章で恐縮ですがニュースレターを送らせていただきました。皆様の休憩中にでもお読み頂ければ幸いです。

■自動盤業界の市場と見通し

新聞紙上では大手企業の相次ぐ賃上げ、来春の大卒採用 14%増、社長 100 人アンケート「景気拡大」7 割超、非常に景気がいい記事が昨今の紙面をにぎわしている。

しかし自動盤業界全体を観た場合、直近の動きは大手企業のそれとはかなり異なっている。

材料屋さんが自動盤屋さんに運ぶ材料は少なく、ここ二ヶ月はトラックの荷台はまばらだ。

切粉の回収業者さんからも、世間ではアベノミクスの影響を騒いでいるが切粉の回収量の動きから自分達にはまるで実感が無い、昨年消費税増税後から一向に切粉の回収量が増えない、と言っている。

しかし、客観的にみた場合自動盤業界を取り巻く好材料は揃っている。

120 円前後の円安傾向の継続、一時期の 80 円と比較しても 1.5 倍も違っている。

加えて昨年からの原油安。材料についても中国需要も一段落した事から国内材料価格も下がっている。

更に極端に悪い要因は殆ど無い、現状よりもう少し上がって来ていいかと思うがそれ程の力強さは無い。

若干ではあるが国内回帰の兆しも見え始めている。

中国製のプリンターが解像度を上げており高精度のプリンターシャフトの仕事量が増えている。

中国・ベトナムを始めとする東南アジアにおいてコストの優位性があっても品質管理が十分でなくより加工精度の高い部品が日本へ戻ってきている。

円高時代メーカーの海外移転に伴い、日本でのプリンターシャフトの仕事量は極端に減少してしまった。

今までプリンターシャフトをメインで加工していた自動盤屋さんは業務縮小や廃業をしており加工出来る所が少ない、発注先は対応先を探すのに苦慮しており、かなり高めめの価格で決まる事もある。

今この業種で残っている自動盤屋さんはキャパオーバーで仕事を受ける事が出来ないのが実情である。

忙しい所は忙しい、自動盤業界の勝ち組は確実に増えている。

二極化が進み、昨年からの多忙を極め従来の親会社からの依頼をこなし切れず苦慮している会社もある。

こうした構造は相変わらず今後も継続する。忙しい所に仕事が集中し発注側から受注側に主導権が動く可能性も高くなってきた。

勝ち組に共通して言えるのはそれぞれに特色を打ち出し、それを積極的に PR している事である。

「なんでもやります」はダメだ、「一点集中」これにより関連した仕事も次第に増えてくる。

先日ある若い経営者から聞いた話が印象的だった。「もう加工技術は売れませんが、これ以外の特色を積極的に打ち出さないと仕事は取れません」自分達を取り巻く環境が明らかに変化している。

時代の変化に相応した独自の戦略を持って積極的に打って出ないと生き残れないと痛感した。

■自動盤屋さんの作った「ピンゲージスタンド」

ニシキ精機 HP:www.nishiki-seiki.co.jp

長野県のニシキ精機（自動盤屋）では自社ブランドでピンゲージスタンドを発売した。

スタートは社内の5S活動の一環としてピンゲージ・リングゲージの整理をしたいが思う様なグッズが売っていない。

それではと思い自社で作った、非常に使い勝手がいい、岡谷市の補助事業の認定を受け自社商品として立ち上げた。

もの作り一筋の社長は販売する事の難しさも勉強した。

苦勞の甲斐あって、今では購入先からの口コミ効果も追い風となり、徐々に注文を増やしている。よかったら一度使ってみませんか！

※購入先はアマゾン 検索「ピンゲージスタンド」

価格：2000 円 色：ホワイト・ブラウン 2 色あり

迷われたら鈴喜より無償サンプル送ります。お電話下さい



平成 26 年度 補正予算

地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金（省エネ補助金）

最近なにかと話題になり既に御存じの方も多い、省エネルギー補助金の説明会に行っておきました。昨年「ものづくり補助金」では既に補助を受けた方、今年 5 月の申請に向けて準備されている方もいます。省エネ補助金はこれと比較すると、驚く程簡略化されかなりハードルが低くなっています。説明会で「緊急経済対策の一環で日本国内の設備投資の促進をうながすための政策です」と趣旨の説明がありました。

大企業はアベノミクスの恩恵を受けています。我々中小企業にも目を向けてくれました。非常に大雑把ですが省エネ補助金の概要をかいつまんでご説明させていただきます。今年、設備を迷われている方は絶好のチャンスです。今回は申請早い順に終了となります。

■補助金額

※総予算額は 800 億円、1 社当たりの補助金の上限額は 1.5 億円、補助率 50%

例えば：SR-20RIV 1500 万円×2台＝3000 万円 購入したいです。

申請が通れば 1500 万円の補助を受け、1500 万円の自己資金で購入出来る。

1 台の金額で 2 台設備導入が出来る事になります。

■申請に必要な書類

※対象機械の見積書、3社から同じ機械の見積もりを入手し最低価格が補助対象金額になります。

この部分は通常の商流と異なりますが御相談いただければ問題ありません。

※機械メーカー発行する省エネ性能証明書。

スター精密では4月中旬には一部の機種を除き発行準備完了予定です。

※役員名簿、交付に関する同意書

決算書や事業計画等は不要です。

■補助事業ポータルサイトへの申請・入力

※パソコンから申請に必要な ID を取得。自社の概要・申請内容をポータルサイトに入力。

パソコンの入力に不安な方は御相談下さい。

■申請の審査について

※申請は随時受け付け、随時審査、随時交付、設置完了後2ヵ月以内に補助金支払い。

※審査承認は申請の早い会社順です、必要書類に不備が無ければ3週間程で採択されます。

※受付の終了は今年の12月11日迄ですが予算を消化次第終了となります。

総予算の800億円の採択が決まってしまうと受付終了です。

かなり早い段階で予算が消化されてしまい受付終了になる事が予想される。

■補足

※今回は財務内容、事業計画、この設備を導入する事によるメリットや目標到達地点等細かな作成書類の提出は必要ありません。申請内容による優劣の審査もありません。不備無ければ通ります。

※申請前、申請後の面談や、訪問確認もありません。

5年間は書類の控えを保管し会計監査が入った場合は対応が必要になります。

※A類型とB類型があります。設備導入の場合はA類型になります。

※これ以外の申請書類でも数字・文字等のケアレスミスで4割程が返却となってしまいます。

返却・修正し再提出にならない様に書類の作成にはお気を付け下さい。

■申請先・詳細問い合わせ先

※SII 環境共創イニシアチブ：経済産業書の定めた執行団体。

TEL 0570-001-290 受付 9:00~17:00 土・日・祝除く

ホームページ <http://sii.or.jp/>

※補足 (株)鈴喜携帯 080-1611-1192 自分が判る事はお答えします。ご遠慮無く。

自社申請が御面倒でしたら、申請作業は(株)鈴喜が完全バックアップ致します。

発行者：(株)鈴喜 鈴木佳之 自動盤専門商社

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-10-8

TEL 048-829-7666 E-mail: yoshiyuki@suzukipc.jp

FAX 048-829-7637 HP : <http://jidouban.com>

携帯 080-1611-1192 ((お電話お待ちしております!))

